

第34回

体育祭 優勝は紅組

坂の上通信

令和四年十一月二十二日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

昨年に続き 全校生徒が集まる

10月21日(金)、体育祭が開催された。昨年度に続き今年度も全学年がグラウンドに集合することができ、天候にも恵まれ、大盛り上がりでの体育祭だった。また、感染防止のため

観客は3年生の保護者のみに限定された。初めての体育祭となる1年生が全員で行った種目は綱引きと大縄跳びだ。どちらもクラスが団結して行う種目である。そのため、新

進気鋭の1年生にとつてうつつけの種目だ。大縄跳びでは、飛んでいる1年生たちと一緒に、先輩達も飛んだ数を数えており、応援にも全力で取り組む美高生の姿があった。



綱引きに勝って喜ぶ1年紅組女子。かけ声をかけ本気で綱を引き合っていた。

新競技も追加

2年生男子は、「じゃん拳王におはなす！」に挑戦した。これは、今年初めて行われた新種目である。全身を使ったグー・チョキ・パーを表現し、じゃん拳に

勝ち進んでいく種目で、じゃん拳王になるには選ばれし精鋭たちに勝ち続けなければならぬ。しかし、じゃん拳に負けても自分の番が回ってきたらまた挑戦できる。みんなじゃん拳王になるために奮闘していた。



じゃん拳に負けて悔しがる男子と(上) 全力疾走する女子(下)

最後の精鋭にたどり着いたとき、じゃん拳をする人、観戦している人もハラハラドキドキだ。ここで敗れた生徒の悔しがる姿が印象的であった。

2年生女子が行った「台風の日」は、4人1組で1本の棒を横にして持ち、カラーコーンを中心に回り、駆け抜ける競技だ。アンカーのチームが走り終わったあと全員が座るまでの早さを競うが、かつてないほどの接戦だったと先生方は話した。

紅組 3年連続優勝

激闘の末、総合得点は1045対775で、紅組が優勝を勝ち取った。コロナ禍による開催形態の変更があった令和2年の体育大会を除けば、実に3年連続での優勝となった。

紅組団長を務めた3年2組岸良くんは、体育祭について、「みんなが楽しんで良かったのではないかと思います。思い出は白組団長の石本くんが行った選手宣誓だ。」と語った。2人が行ったユーモア溢れる選手宣誓は、多く

の生徒を笑顔にしていた。また、「印象に残ったことは、1年生と2年生が旗を回してくれたことだ。来年は今年よりも盛り上がりたてたいので欲しい。」と、後輩に向けてのメッセージを残してくれた。学年を越えて一致団結できたことが、紅組を優勝へ導いたのかも知れない。来年は紅組が4年連続での優勝を飾るか、それとも白組が雪辱

白組	紅組
775	1045



ピースサインでインタビューに応じる岸良団長

ダンス 優勝は3組

クラスの団結力があらわに

2年生全員が行った種目はダンス・ダンス・ダンス。ダンス・ダンス・ダンスを披露した。今までたくさん練習してきたダンスをみんなの前で披露するのは初めてで、緊張もしただろうが、踊る人たちだけでなく、観ている人たちも楽しむことができた。昨年踊った3年生が今年も審査員となり、みごと最優秀賞に選ばれたの

は2年3組だ。2年3組のダンスリーダーを務めた長船さんは、練習について、「最初はみんな、あまりやってくれないかと思いましたが、積極的に練習に参加してくれたので、スムーズに進み、細かいところも合わせることができ嬉しかったです。また、女子だけでなく、男子もアドバイスをしてくれて、団結力が深まった。」と語った。また、優勝が分かったときどうだったかを聞くと、「泣いた。頑張ったと思っただけで、担任の池本先生とクラスみんなの笑顔が脳裏に浮かび、感動した。」と、やりきったという爽やかな笑顔で語った。



優勝した2年3組の息ぴったりなウェーブ



全員で力を合わせ、笑顔で踊りきった2年生



三年生 最後の体育祭

恒例の民謡 色とりどりの浴衣で

浴衣を着て民謡を踊った3年生。浴衣の着付けは生徒自身で行った。全員が浴衣を着て踊る民謡は華やかで美しい。それぞれ個性のある浴衣をきて踊る姿は、下級生からも注目の的となる競技の1つだ。美鈴音頭など3曲を踊り、

自分の名前が書かれたうちわを掲げて踊る場面もあった。高校生活最後の体育祭に花をそえた。

また、大縄跳びではクラスを半分に分けて20人ずつ実施した。今年度の3年生は、コロナ禍の影響で様々な行

事が満足に出来なかった。体育祭も例外ではない。一年生の時には行えなかったため、美鈴の体育祭では初めての行う大縄跳びとなった。受験勉強の合間に練習を重ね、見事な団結力をみせた。優勝は3年6組だ。



学校の「顔」に インタビュー



今回は、保健体育科の困田先生にインタビューを行った。

「体育祭はどうでしたか。」

「1年生の授業しか受け持っていないが、体育祭でみんなの良い表情が、小学生の時の先生が

情と楽しんでる姿を見て嬉しかった。改善してほしい点は、先生の指示ではなく自分たちで行動してほしいということ。

「なぜ先生になったのですか。」

「小学生の時の先生が怖くて嫌いだっただけで、先生になってやっつけようと思った。しかし、中学生のときに理想の先生に出会い、この人のようになりたいと思うようになったから。」

「美高生に一言」

「自信を持って何事にも取り組む、体育祭の時のような笑顔と明るい雰囲気は日常で続けてほしい。」

白熱した各種リレー

部活動対抗リレーは男子はバスケット部、女子は陸上部がそれぞれ1位となった。各クラブのユニフォームを身につけ、試合さながらの熱気を見せた。



倒すハプニングもあったが、先生チームの順位は2位とかなりの好成绩をおさめた。普段見ることのない先生たちの全力疾走する姿に、会場は大盛り上がりだった。3年生は最後のリレーで精一杯やりきった。保護者や先生、クラスメイト、後輩たちの応援する声を浴びながら観客の前を一瞬で駆け抜けて行く。優勝を勝ち取ったのは3年1組だ。



学年別リレーのようす(写真上)と、大縄跳びをする3年(下)



総合成績

種目	優勝
1学年リレー	1-2
2学年リレー	2-2
3学年リレー	3-1
クラス対抗リレー	2-6
1年大縄跳び	1-5
3年大縄跳び	3-6
ダンスダンスダンス	2-3
じゃん拳王におれはなる	引き分け
台風の日	白
綱引き(女子)	1-4
綱引き(男子)	1-5
部活対抗リレー(女子)	陸上
部活対抗リレー(男子)	バスケ

部活動紹介

今回紹介するのは弓道部である。

部員は現在2年生28人、1年生は14人です。

第30回中国高等学校弓道新人大会に出場することになりました。出場者は2年生の志水優心くん、山下遼人くん、吉村麟くん、山本歩く

ん、松見咲那さん、山本真里奈さん、坂本葵さん、横山あずみさんです。大変だったことは集中力を保つこととメンバールを決めることです。自分たちの出来ることを全力でやって団結して勝ちます。

普段の練習では真面目に集中して取り組んでおり、みんな仲良く頑張っています。弓を引く姿をお互いに見合せてアドバイスをしています。



部員から一言 ぜひ弓道部に入室してください。

体育祭の名脇役

運動部対抗リレーの外でも、各部活動はいろんな場で活躍していた。運動部は、競技の準備や審判、得点計算などを担った。そして、文化部のサポートも忘れてはならない。放送部はアナウンスを、書道部は賞状制作を担当した。新聞芸芸部も、炎天下での写真撮影に勤しみ、広報活動に役を買っている。彼らのおかげで、今年も体育祭は成功できたのだ。



美・鈴・鈴・鈴

体育祭の一番初めの種目はなにか。答えは準備運動である。この準備運動は、いつからあり、どのような効果があるのだろうか。▼日本は明治初期頃に入ってきたスウェーデン体操の影響を永く受けた。そして、昭和6年にデンマークからニールス・ブックが来日し、彼の基本体操が披露された。この頃から体操は健康を目標とした基礎的な運動方法として認識が深まってきた。(公益財団法人日本体操協会HP)日本の体操は外国の影響を強く受けていることが分かる。あのラジオ体操も、リズムカルなデンマーク体操の影響を受けて作られたとも言われている。

▼準備運動を行うことで得られる効果は、体温を上昇させる、関節可動域を広げる、心拍数と呼吸数を徐々に増加させる、などだ。もし準備運動をせずにいきなり運動を始めると心臓や筋肉、関節に負担がかかり、怪我をする可能性がある。準備運動はその名の通り準備をするための運動である。運動をする前は必ず準備運動を行うようにしたい。

編集後記

来年は文化部対抗リレーもあつたら嬉しい。